日本基督教団
東中国教区ニュース NEWS

東中国教区
教区ニュース誌委員会
〒七一〇-一〇〇五
倉敷市鶴形一-五-一五
倉敷キリスト会館内
℡（〇八六）四二二-七八〇

説教

「カムカムエンジェル」

玉島教会　牧師　三浦 きょうこ

「天使は、彼女のところに来て言った。『おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。』」

（ルカ一章二八節）

コロナウイルス発症から既に二年、パンデミックも長期になりました。昨年のクリスマスは、一同集っての礼拝や集会が出来ませんでした。教会のお台所はいまだ出番を失いシーンとしています。そんな不自由な中、それぞれの教会が様々な形で神様への礼拝を工夫して来ました。手の消毒とマスクはすっかり習慣化し、楽なことにお化粧もひげそりも手を抜いて礼拝に参加出来るようになりました。人によってはすっかりオンラインに慣れ、会議に参加する時の行き来の時間とお金は節約され、お出かけ着に着替える必要もありません。

しかし、しかし、何かが足りない…。いまだ「いつもの」教会に戻れないもどかしさ…。そんな今年もクリスマスがやって来ました。

聖書には創世記からヨハネの黙示録まで、旧・新約聖書におおよそ三百回「天使」が登場します。神と人との間を取り持つ天使ですが、ある時には「霊」として、ある時には人格を持って、時に名前さえ持って、聖書に記されて来ました。さまざまな働きをなす天使たちは、神の創造の時に造られ、民を祝福し、顧み、導き、守り、妨害し、滅ぼし、先立ち働き、不思議を見せ、力づけ、幻を解説し、命じ、保証し、勧告し、宣言する。また、数え切れないほどの天使が軍勢となって天で神を賛美します。そして最後の日には、滅びと救いを与えるため、わたしたちのもとに遣わされます。また義人の母たち、イシュマエルの母、イサクの母、サムソンの母、ヨハネの母に受胎を告知し、同じように、イエスの母に受胎を告知しました。さらに、イエス誕生の告知は、その両親だけにではなかったことをルカは記しています。今年はしばし、この霊的な存在に目を向けてみませんか。霊性が個人主義的な意味での探求だけで完結しないためにも、聖書の「天使」を見直す作業は有効です。それは神の意志をしっかりと確認する作業だからです。

三浦きょうこ牧師・高津俊牧師とZOOM参加

天使がなぁ、うちらのところに来て言うたんじゃ。「みんなげんきかのぉ、ぼっけぇ恵まれとるあんたらぁ。主はあんたらといっしょにおってくれるでぇ。」

みなさん、すてきなクリスマスを迎えられますよう！

玉島教会

目次

説教「カムカムエンジェル」……1
「二〇二一年度 第一回宣教会議報告」……2
「教区の新しい会議のしくみ」……3
「真備地区文書伝道支援について」……4
「二〇二一年度 カルト問題全国連絡会」（Zoom）に出席して……5
「オンライン献金のご紹介」……6
教会紹介 琴浦教会……7
「こんにちは」のお部屋・編集後記……8

「二〇二一年度第一回宣教会議報告」

東中国教区議長　服部　修

今年度もコロナの感染拡大防止の観点から宣教会議を九月二七日にオンラインで開催しました。また、今年度も一堂に会しての教区総会を開催することができず、郵送による選挙となり、その結果を待っての開催となったこともあり、今回の宣教会議は前総会期のメンバーと今総会期の各部委員会の招集者を含めた会議となりました。

協議の内容は、教区総会にも提出されている、将来的東中国教区宣教に関する件が中心でした。本来ならば総会で共に協議することができれば望ましいのですが、コロナ禍にあってその願いは実現していません。しかしながら総会で審議の時間を持つことができない代わりに、宣教会議でこの話題について議論と理解を深める時間が与えられていると思い、このような状況も感謝として受け止めています。

協議においては、特にコロナ禍にあって各教会が様々な形で困難を抱えている中で、教区が宣教の展望を持ちながら教区内の教会にいかにして関わり、サポートすることができるか、といったことが話題の中心になりました。教会や地区においてなかなか共に集まることが困難になっている状況下にあって、いかにして交わりを保ち継続させるかといったことが課題となっています。また各教会でもオンラインとの併用が増えていることで、働き手の担い手の問題もありますし、各個教会だけでは対応できない面もあります。そのようなときにこれまで宣教会議で確認されてきた「協働」をどのように具体化するのか、ということが将来的宣教の展望につながると思われます。教区がこれまでできたこともありますし、できなかったこともあります。時代の変化もあって取り組めなかったことや、変化したゆえに取り組めることなども検証すれば出てくると思います。そういった事柄を一つ一つ丁寧にまとめ、見通していく作業が今後は大事になると思われます。

宣教会議での教区予算の議論の中でも触れられた話題になりますが、活動として前年度を踏襲した執行が中心であったものを、そのまま継続するのか、それとも変えていくのかといったことも、すぐに答えの出るものではないかもしれませんが、将来的宣教の課題として考慮すべきであることを確認させられます。

協議を踏まえて、教区内に付帯施設も含めて諸教会が存在していることが最も大切な財産である、との認識のもとで、そこに存在する教会、施設を支えサポートする道筋を整えたいという願いを新たにしました。

「教区の新しい会議のしくみ」

東中国教区副議長　中井大介

東中国教区は第七〇総会期（二〇二一年度）からオンライン会議の支援を実施することとなりました。

現在、教区常置委員会はオンライン会議を実施しています。二〇二〇年一月度のダイヤモンドプリンセス号クラスター事件以降、新型コロナ禍はわたしたちの暮らしに変容を強いました。県境を越えた移動の制限があり、「密閉・密集・密接」を避ける必要が生じました。会議制に基づく教区運営にいちじるしい支障がありました。以前から、会議形態の一つとしてのオンライン会議は実施されていましたが、新型コロナ禍で移動と集合を避けて会議するためのしくみとして世の中では、より一層使いやすいサービスの提供がはじまりました。教区常置委員会でもオンライン会議実施に取り組み、不慣れな中で事前の接続テストや資料の共有などの練習を行いながら会議を継続してきました。

今後はコロナ後の世界が始まったとしても、コロナ以前の世界には戻らないと言われています。そうしたときに会議制を基本とする教区運営は必然としてオンライン会議、もしくはいくつかの現実的会場とオンラインをつなぐハイブリッド形式のいずれかを用いることとなります。そのことを見越して常置委員会では、教区で会議を主催する役職者にオンライン会議用アカウント取得の補助金を支出し、委員会招集者のオンライン会議運営を資金的に根拠づけることとしました。第七〇総会期には三役、各地区長（鳥取西・鳥取東・岡山北・岡山西・岡山中・岡山東）、財務部・教師部、宣教部（伝道・教育・社会）、ニュース誌の合計十五の役職者にオンライン会議主催の権限が付与されることになります。各担当の方には（ご本人でなくても、ご本人が相談できる方に手伝っていただきながら）、この新しいしくみを活用することで、新型コロナ禍の中にあっても協議の場を主催していただけると思います。はじめは苦労するかもしれません。常置委員も最初からこのしくみを活用できたわけではありません。しくみ自体は万能でもありません。しかし、同時に、今までには考えられなかった会議体を構築できる可能性も含まれています。これまでの委員会の中では、県を越えた参加者や、海外からの参加者も含まれる会議を実施したところもあります。県外の講師を複数人招いて研修を実施したところもあります。確かに実際に出会うこととは本質が異なりますが、だからと言って主に託された宣教の業を放棄するわけにはいきません。その一助としてのしくみと捉えていただき、工夫して使っていただけたらと思います。

「真備地区文書伝道支援について」

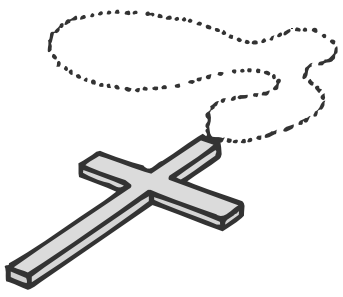
東中国教区議長　服部　修

「まびくら」が閉所した後、期限付きではありますが真備地区に引き続きの支援を検討することが前総会期の常置委員会において確認されていました。その支援の一つに真備地区の文書伝道支援の計画がありました。

この計画は「まびくら」の閉所と同時期にＣＬＣブックス岡山店閉店のニュースとのつながりがありました。書店閉店のニュースを聞いたまびくら運営委員会の有志によって、キリスト教書店存続のための懇談会が立ちあがりました。そして懇談を続ける中で「せとうち文書伝道運営委員会」が発足し、書店業務を引き継ぐことになりました。まびくらの交わりの中から生まれた経緯を踏まえて、その活動を支援する仕方で真備地区への文書伝道が具体化されることを願い、どのような形での支援が可能なのか検討されることになりました。

関係各所との懇談協議、調整を重ねながら、最終的には、教区としては「せとうち文書伝道運営委員会」の活動への直接支援ではなく、同運営委員会を主にサポートしている岡キ災からの支援要請を引き受ける仕方で、真備地区の文書伝道を支援する方向で考えることになりました。特に岡キ災とは、一堂に会しての総会がまだ開催出来ていないため締結式はまだ行われていませんが、宣教協約を結ぶことが総会の議案の中でも確認されておりますから、この宣教協約の関わりの中で、財的な支援、さらには人的支援も必要に応じて教区内の教会に呼びかけながら、文書伝道の働きを共に担うことができれば良いのではないかと願っています。

その手始めとして、今年度の倉敷市民クリスマスが真備地区にある「マービーふれあいセンター」で開催されることを受け、市民クリスマス参加者への文書伝道を行うことが岡キ災において計画されましたので、その支援を教区がサポートすることとなりました。今後も岡キ災と共に計画、協議を積み重ねながら真備地区での文書伝道の働きを担い、この活動を通して真備地区に暮らす一人でも多くの人が福音に触れ、主を信じ、救われるようにと願っています。文書伝道は華々しい活動ではないかもしれませんが、大切な働きの一つだと思っています。どうか、真備地区の文書伝道の働きのために祈りをもってお支えください。



二〇二一年度「カルト問題全国連絡会」（Zoom）に出席して

教区宣教部社会委員会
児島教会　平川英勝

九月十六日（木）午後一時～五時まで四時間にわたり二年ぶりの会議開催となりました。カルト教団の最新情報を三人の講師の講演を通して学ぶことができました。簡単に紹介します。

①「摂理問題」

日本バプテスト連盟
枝光教会　岩崎一宏牧師

摂理の教祖は性的暴行により服役し、二〇一八年に出所した。当初摂理は誰もこれで終わったと思ったが、教祖は冤罪を主張、信者も冤罪であると信じ、教団は現在まで存続している。韓国に七十の教会、日本で十二の教会と二十二の小さいグループから成る。最近日本巡回伝道を行い、二〇一八年末で四四七二名の信者が二〇二〇年末までに四八一五名と躍進している。日本は摂理の伝道率（信者獲得率）二〇一九年・二〇二〇年に世界一位となり教団幹部は自信をふかめている。

現在のコロナ禍では人による対面勧誘やサークル活動などの伝道はできにくい状態で、コロナはチャンスととらえ、ＳＮＳでの伝道に力を入れている。特に有名大学の難関学部の学生を利用して、楽しくサークル活動などしている映像をＳＮＳでながして若者を引き寄せている。

カルトへの注意喚起を促すパンフレットなどの印刷物は時代遅れとなり、各大学は映像の作成を始めている。大阪大学は早くから映像を作成して学生がスマホでみることが出来るようにしている。教団もパンフレットに替わり映像を作る予定です。既存のパンフレットはコロナにより半数が在庫として残っている。

②「クリスチャン・トゥデイ問題」

日本基督教団
深沢教会　斉藤篤牧師

教祖・張在享は「伝統ある既存の教会が張グループへの迫害をやめて和解に向かっている。二〇二〇年・二〇二一年はみのりの時代である」「自分は来臨のキリストである」と主張している。伝統ある教会の乗っ取りを虎視眈々と狙っている。このグループは過去の例から非常に凶暴な性格を持っている。教団中部教区にクリスチャン・トゥデイを応援する牧師がいるという情報がある。四国教区では外部から来た、又は外部から影響を受けた役員と牧師との対立情報もある。

③「統一協会二世問題」

教団　白河教会　竹迫之牧師

協会信者一世は献金で貧乏して、高齢化を迎え借金・医療費は二世である子供たちの負担になっている。自己犠牲的二世が親の信仰と生活を支えている。信仰は二世止まり、三世以降は覚めた目で見ている。二世にとって教え込まれたことが社会との軋轢になっている。このままでは二世・三世からの逆襲で統一協会が滅亡するかも？

「オンライン献金のご紹介」

京都教区　世光教会
牧師　新井　純

（このコロナ禍にあって、オンライン礼拝を実施する教会が増えてきています。その中で、オンライン礼拝に加えて、オンライン献金のシステムを導入した教会の話も耳にし、実際に導入している京都の世光教会に尋ねてみました。以下は世光教会の新井純牧師の言葉となっています。）

クレジットカードで献金できるオンライン献金。遠方の方、療養中の方、その他様々な都合で教会での礼拝に出席できない方が、書留や振込などの手間が掛からず、ご自宅のパソコンやスマートフォンを使って献金できるシステムです。果たしてどのようなものなのか、簡単にご紹介します。

Q：礼拝献金や月定献金、特別献金などを指定できるのですか？

A：献金項目に、礼拝、月定、イースター、クリスマス、受洗記念、誕生感謝等々、よく献げられる項目はあらかじめ準備してあります。他に、献金の理由や目的を自由に書き込める項目もありますので、例えば「入学感謝」「結婚記念」等、教会で献金する時のように理由を示して献金できます。

Q：いくらから献金できますか？

A：最低50円から献金できます。金額は自由です。ただし、利便性を上げるため、あらかじめ１０００円、２０００円など、ワンタッチで選択できる金額も設定してあります。

Q：利用料はかかります？

A：献金ごとに献金額の3.6％の決済手数料が掛かります。例えば、千円の礼拝献金があった場合、手数料36円を引かれた９６４円が教会の銀行口座に振り込まれる仕組みです。献金者には利用料は掛かりません。他に、経常収入に応じて、毎月２０００円～１万円程度のシステム利用料が必要です。

Q：利用料や手数料が掛かると、その分経常収入が減りませんか？

A：献金総額が変わらない場合は、当然利用料相当分はマイナスになります。しかし、例えば新型コロナ感染症で礼拝ができなくなったり、オンライン礼拝になったことで献げられていなかった礼拝献金がオンラインで献げられたり、転居で遠方に行かれた教会員が利用してくださるなど、減少幅を縮小できたり、新たな献金者があるなど、メリットもあります。

Q：実際に導入して、実績は？

A：世光教会の場合は、オンライン礼拝の出席者や、オンライン献金を知った遠方の方が礼拝献金や特別献金をしてくださいます。また、毎月自動で引き落とされる月定献金を利用している教会員もいますので、予想以上の実績となっています。

Q：クレジットカードを持っていない方や、パソコンを使えない方はどうすれば良いですか？

A：オンライン献金を導入しても、全ての献金をオンラインに切り替えるわけではなく、献金する手段が一つ増えたと考えれば良いと思います。

Q：クレジットカードで献金することに抵抗はありませんか？

A：オンラインで献金しなければならないわけではありませんから、抵抗がある方は従来の方法でお献げすれば良いと思います。クレジットカードの利用は、後からまとめて決済されて銀行口座から引き落とされるだけで、感謝の気持ちが変わるわけではありません。

詳細は「オンライン献金.com」で検索してみてください。　https://cl-kenkin.com/

教会紹介

・琴浦教会・

牧師　川上幹太

わたしは今現在、琴浦教会に着任して三年目が終わろうとしています。着任して一年経たないうちにコロナ禍に突入したため、本来の琴浦教会の活動がどういうものであったか、充分に知らないのです。そのような限界はありますが、わたしが感じた琴浦教会の大きな特色は二つ挙げることが出来ます。

第一に、家族のつながりをとても大切にしていることです。夫婦で教会員であり、子どもたちも洗礼を受け、孫たちもこども教会に通っているというふうに、教会がそれぞれの家族の間の絆を強めていると感じます。二〇一二年発行の六十周年記念誌を見ますと、教会員家族の写真がそれぞれ掲載されており、単に教会員であるか否かを超えて、主の恵みが豊かな広がりをもって与えられていることを感じます。この主のご配慮に信頼し、いかに信仰を継承していくかが、今教会が直面している課題です。多忙な「二世」世代がどのように今、教会と関わって行けるのか、皆の都合に配慮しながら、共に礼拝を守ることから進めています。

第二に、地域とのつながりを大切にしていることです。琴浦教会の週日は、直接キリスト教的な活動（礼拝、祈祷など）はしない、地域の人々の活動が行われています。ふれあい（ボランティアサークル。病院でのハンドベル演奏や、カレンダー作りなどをします）、たんぽぽ（会堂を使って好きな歌を合唱します）、真向法体操（会堂を使って健康体操をします）がありますが、コロナ禍の現在、活動出来ているのは少人数の真向法体操のみです。それぞれのグループを主導するのは教会員ですが、ここで育てられた関係性が琴浦教会を外側から支えていると感じます。とくに年に一度の「クリスマスイヴのつどい」は、ふれあい、たんぽぽにとっての発表会の側面があり、その晩は教会が一年間で最も賑やかになる時の一つです。ただ、その大所帯になることがコロナ禍では仇となり、去年から「イヴのつどい」は休止になっています。その代わり、今年度はささやかに、密にならないように、地域の人々とクリスマスを祝うイベントを計画しています。

このコロナ禍にあって、厳しい現実を歩んでいることは誰もが同じであると思いますが、このような危機にこそ、主が働いて、それまで気づかなかった恵みを教えてくださることを期待したいと思います。

眼下に瀬戸内海を見渡せる丘の上の教会

「こんにちは」のお部屋

「新天地育児院の歴史と働き」

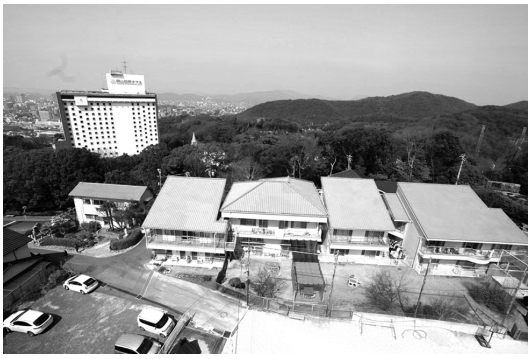
一八八七年、「児童福祉の父」と言われる石井十次は、キリスト教信仰に根差し、岡山孤児院を創設し、生涯孤児救済に身を捧げました。人々は、その命を懸けた姿に感動し共鳴しました。十次と同じ岡山教会のメンバーであった堀ミチもその一人でした。

ミチは一九一一年、十次に相談し、岡山孤児院の裏手にある瑜伽山（ゆがさん）で、十次が町を見下ろしてよく祈ったという土地に、生活困窮者を助けるための家を建て、これを「愛の山 新天地」と名付けました。

当時ミチには、池田 愛という一歳で預けられた孫がいました。ミチはいつも愛に十次の話をし、神を信頼し困窮者に奉仕する生き方が、いかに素晴らしいかを語り聞かせました。

愛はミチの意志を継ぎ、一九五〇年、隣接する自宅を開放し、女学生仲間と共に乳児預かり所を開設しました。その後、一九五一年に児童養護施設を併設し、一九五五年に社会福祉法人となりました。愛の働きは評価され、厚生大臣賞や藍綬褒章などを受賞しました。石井十次から渡された種を、堀ミチがまき、池田愛が結実させたもの、それが新天地育児院です。

乳児預かり所



現在の新天地育児院

現在は三十名ほどの児童が生活しています。愛着関係を重んじ、家庭的で丁寧な生活を送ることを心がけています。

編集後記

クリスマスの訪れをお祝い申し上げます。今号も無事に皆様のお手元にお届けすることができ感謝の思いです。コロナ禍以降、教区内の様々な行事が実施できない中、例年掲載していた記事が少なくなりニュース誌委員会でも思案を重ねるものでした。しかし一方で新しい記事を模索するための大切な機会ともなったことを思います。「すべてを吟味して、良いものを大事にしなさい」（一テサ五：二一）とあります。良いものを探す吟味の道のりもまた主の御心であることを改めて憶えたいと思うのです。（W）

★ハラスメント相談窓口★

毎月第三水曜日　午前九時～午後九時

電話番号　〇九〇－一三三〇－八七三〇（イイミミト　ハナソウ）